

第3回次世代を担う有機化学シンポジウム

日時 平成17年5月20日(金)～21日(土)
会場 日本薬学会長井記念ホール(渋谷区渋谷2-12-15)
Tel (03)3406-3326 Fax (03)3406-7580
<http://www.pharm.or.jp/hole/index.html>
主催 日本薬学会化学系薬学部会

第1日

9:30～11:03

- 1-01 ヘテロ原子に隣接する sp^3 C-H 結合のラジカルヒドロキシアルキル化反応(明治薬大) ○好光健彦、新野義政、長岡博人
- 1-02 ニトロベンゼン構造を有する光誘起型 NO ドナーの創製(名市大院薬¹、国立医薬品食品衛生研²) ○鈴木孝禎¹、中川秀彦¹、加藤友香¹、長江修¹、福原潔²、宮田直樹¹
- 1-03 Pd/C-D₂O-H₂ システムによるベンジル位選択的 H-D 交換反応における反応機構(岐阜薬大) ○栗田貴教、関沙織、森重樹、前川智弘、佐治木弘尚、廣田耕作
- 1-04 シクロプロパノール系を利用した新規合成反応(静岡理工大工¹、富山医薬大医²) ○桐原正之¹、角田広子²、秋本達広¹、島尻晃宏¹、森下穰¹、落合悠介¹、幡野明彦¹

11:18～12:24

- 1-05 N-ヘテロサイクリックカルベンを配位子とする新規遷移金属触媒反応の開発(東北大院薬) ○稲本浄文、黒田潤一、檀上友浩、坂本尚夫
- 1-06 圧力と光によるロタキサン類の構築(福井大工) ○徳永雄次、赤坂宏一郎、下村与治、若松奈々絵、大林秋仁、佐伯進
- 1-07 ガリウム触媒を用いるケトンの α -ビニル化および α -エチニル化反応(東北大院薬) ○西村良夫、雨宮亮、山口雅彦

13:50～15:01

- 1-08 合成ハプテンを用いた抗シガトキシン抗体の作製とサンドイッチイムノアッセイ法の開発(大阪府大先端科研¹、生分工研²、東北大院理³) ○円谷健^{1,2}、大栗博毅³、上原久俊³、南雲陽子³、丸山潤美³、新藤由美³、佐々木信也³、井上将行³、平間正博³、藤井郁雄^{1,2}
- 1-09 新規4環性カゴ型化合物の合成と抗ウイルス活性評価(富山医薬大薬¹、富山医薬大医²) ○佐々木和重¹、松谷裕二¹、落合宏²、根本英雄¹
- 1-10 新規多機能有機分子触媒による不斉 aza-Morita-Baylis-Hillman 反応の開発(阪大産研) ○松井嘉津也、滝澤忍、笹井宏明

15:16~16:22

- 1-11 芳香族 Pummerer 型反応を繰り返し利用する多置換インドールの合成法 (阪大院薬) ○川下理日人、和田康史、赤井周司、北泰行
- 1-12 機能性イソキノリン型 Boc 化剤 BBDI を用いるカルボン酸類のエステル化、アミド化反応およびその触媒化の検討 (東北薬大) ○斎藤有香子、渡辺公和、大内秀一、高畑廣紀
- 1-13 ラジカル反応を基盤としたタンデム型炭素-炭素結合形成反応の開発 (京大院薬) 宮部豪人、○浅田隆太、竹本佳司

16:37~18:05

- 1-14 シクロブタン型チミンダイマーを光修復するペプチド型人工 DNA フォトリアーゼの開発 (東理大薬) ○山田泰之、青木伸
- 1-15 温度応答性を有する高分子酸化触媒の開発 (帝京大薬) ○濱本博三、鈴木八千代、高橋秀依、池上四郎
- 1-16 水界面での脱水縮合反応を起動力とする新しい膜融合法の開発 (神戸学院大薬¹、PRESTO-JST²) ○国嶋崇隆^{1,2}、戸梶雅文¹、松岡圭介²、西田仁²、日置和人¹、谷昇平¹
- 1-17 非共有結合性相互作用を利用した伝導性分子集合体の構築: ウラシル導入型テトラチアフルバレン類の構造と物性 (阪大院理) ○梅本欽一、森田靖、宮崎栄吾、中筋一弘

第 2 日

9:35~10:41

- 2-01 5 価リン化合物: ジアミノホスフィンオキシドの配位子機能の発掘と触媒的不斉反応への応用 (千葉大院薬) ○根本哲宏、松本貴義、福田友昭、秋元優一、増田貴政、濱田康正
- 2-02 アレン類のエンド型閉環反応を基盤とする炭素環構築 (金沢大院自然) 向智里、○黒田典一、右近梨絵、伊藤留美子
- 2-03 ホスファイト法を機軸とする 2-アセトアミド-2-デオキシ-β-D-グリコシド結合の直接的構築法の開発 (北大院薬) ○在原僚一、中村精一、橋本俊一

10:56~12:02

- 2-04 ケージドペプチド核酸の合成と光化学特性 (東邦大理) ○渡辺貴嘉、古田寿昭
- 2-05 側鎖上に不斉中心を持つアミノ酸とそのオリゴペプチドの二次構造 (徳島文理大香川薬¹、九大院薬²、大阪薬大³、国立医薬品食品衛生研⁴) ○出水庸介¹、田中正一²、土井光暢³、栗原正明⁴、丸山徳見¹、末宗洋²
- 2-06 微生物からの自然免疫制御物質の探索 (東北大院薬) ○菊地晴久、上田和則、関谷瑞樹、岡崎香織、倉田祥一朗、大島吉輝

13:30~15:01

- 2-07 変形菌からの天然物探索：*Physarum bethelii* 他の成分（千葉大院薬）○鎌田和明、細谷孝博、中谷さと美、石橋正己
- 2-08 抗動脈硬化剤の創製を目指した *Artepillin C Isoprenomics*（徳島大工）○宇都義浩、阿江周太郎、小山大輔、永沢秀子、堀均
- 2-09 前立腺がんを標的としたプロホルモン型 19-ノルビタミン D₃ 誘導体の開発と、リガンド特異的な VDR-転写共役因子相互作用の High-Throughput Screening システム開発（帝京大薬¹、ボストン大医²、富山県大工³、京大院農⁴、東大分生研⁵）○荒井緑¹、堤龍司¹、Tai C. Chen²、Michael F. Holick²、榊利之³、漆野奈穂子⁴、井上國世⁴、伊藤沙耶⁵、武山健一⁵、加藤茂明⁵、橘高敦史¹
- 2-10 免疫抑制糖脂質：*(2S,3S,4R)-1-O-(α-D-galactosyl)-2-tetracosanoylamino-1,3,4-nonanetriol* の合成（第一サントリー生医研¹、国立精神神経センター神経研²）○村田健司¹、鳥羽哲也¹、中西恭子¹、高橋美德¹、竹本尚弘¹、赤羽美奈子¹、山村隆²、三宅幸子²、案浦洋一¹

15:16~16:44

- 2-11 フルオラス保護基を用いた *Bistratamide* 類の効率的合成（新潟薬大応生）○中村豊、武内征司
- 2-12 新規実用的な C-2 アリールプリンおよび Ar-SH の合成法と医薬候補品プロセス開発への応用（万有製薬（株）合成技術研プロセス化学研）○伊藤孝浩、佐藤公彦、間瀬俊明
- 2-13 遷移金属触媒を用いたシクロブタノール類の連続的環拡大反応の開発（東北大院薬）○杉本健士、吉田昌裕、井原正隆
- 2-14 ブロモアレンのタンデム型閉環反応による二環性スルファミドの合成とパラジウムの有無による閉環様式の制御（阪大院薬）大野浩章、○小坂昇平、濱口壽雄、田中徹明

16:59~18:49

- 2-15 カイトセファリンの全合成（大阪市大院理）○品田哲郎、川崎昌紀、大船泰史
- 2-16 ニトロソ類への立体選択的分子間炭素ラジカル付加反応の開発（神戸薬大¹、京大院薬²）○上田昌史¹、宮部豪人²、寺町昌子¹、宮田興子¹、内藤猛章¹
- 2-17 エノレートの動的不斉を利用する不斉環化反応（京大化研）○門口大輝、Swapan Majumdar、川上晋平、川端猛夫
- 2-18 *Garsubellin A* の触媒的不斉全合成研究（東大院薬）○倉持哲義、白田裕之、金井求、柴崎正勝
- 2-19 金属ポルフィリン及びフタロシアニン錯体をルイス酸触媒として用いるエポキシドのカルボニル化合物への位置・立体選択的転位反応（明治薬大）○高波利克、

中島伸一郎、吉川武年、佐藤弥瑞臨、須田晃治

詳細は HP をご覧ください。

連絡先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学化学研究所
第3回次世代シンポ事務局 電話 0774-38-3193（椿）

E-mail: jisedai@fos.kuicr.kyoto-u.ac.jp

<http://www.pharm.tohoku.ac.jp/~seizou/jisedai2005/>